

20

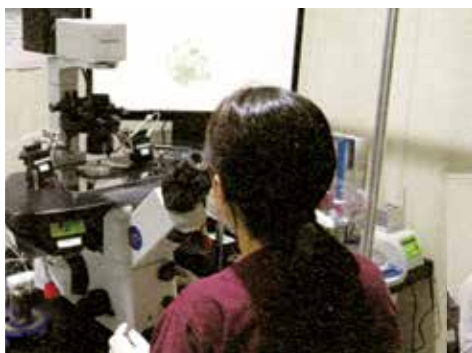
成育・女性医療部門

産科婦人科



「いかになるか」を大切にした教室づくり

自分個人の立場でもまた他人に対する場合においても、一足飛びに「かくあれ」「いかにあるべきか」と思うのではなく、日々を「いかになるか」と心がけて前向きに過ごすことができる教室運営を行います



20 産科婦人科

詳細は、福井大学産科婦人科学教室のホームページをご覧ください。<http://www.med.u-fukui.ac.jp/SANFUJIN/>

科長 (研修統括者)

吉田 好雄
出身大学 福井大学（昭和63年卒）
専門分野 婦人科腫瘍

教室の内容 と特色

私達は、教室員が各自の人生観、価値観に従って幸せになることが教室の発展と考えています。従って、“楽しく活き活きと”が教室のモットーです。

モットー

楽しく活き活きと

診療内容

いずれも少子高齢化社会に対する鍵となる診療内容です。

- 1) 腫瘍医療
婦人科癌（子宮癌、卵巣癌など）、子宮筋腫、子宮内膜症など。
- 2) 周産期医療
異常妊娠（子宮外妊娠、妊娠高血圧症候群など）、流・早産、母体合併症妊娠、胎児異常など。
- 3) 生殖医療
不妊症、月経異常、内分泌異常、性分化異常、性器奇形、不育症など。
- 4) 女性ヘルスケア医療
更年期障害、心身症、骨粗鬆症、骨盤臓器脱など。

診療の特色

- 1) 各診療分野の治療成績をホームページで公表しています。
- 2) 診断・治療方針は、先ず各診療分野の専門医師を中心に立てますが、それを他の複数の医師が参加するカンファランスにかけるというチェック機構があります。
- 3) 抗癌剤治療などは関連病院と協力して、独自の優れた成績をあげています。
- 4) 早産治療の向上と小児科医の尽力も加わり、新生児死亡率が大幅に減少しています。
- 5) 中高年女性の骨盤外科、とくに性器脱の症例が多く、治療経験が豊富です。
- 6) 婦人科癌の診断に早期からPET検査を導入し、診断効率を上げています。
- 7) HPVの臨床研究を通して子宮頸癌の癌検出診断効率の向上につとめています。

教室員の
構成

スタッフと専門領域

| 氏名 | 職名 | 専門分野 |
|-------|-----------------------|-------------|
| 吉田 好雄 | 教授・科長 | 婦人科腫瘍 |
| 折坂 誠 | 准教授 | 生殖医療 |
| 品川 明子 | 講師・医局長 | 婦人科腫瘍 |
| 大沼 利通 | 助教 | 婦人科腫瘍、内視鏡手術 |
| 玉村 千代 | 助教 | 周産期、遺伝診療 |
| 宮崎有美子 | 総合周産期母子医療センター 特命助教 | 生殖医療 |
| 川村 裕士 | 助教・外来医長 | 周産期 |
| 白藤 文 | 特命助教 | 生殖医療 |
| 高橋 望 | 助教・病棟医長 | 周産期 |
| 山田しず佳 | 助教 | 婦人科腫瘍 |
| 井上 大輔 | 助教 | 婦人科腫瘍、内視鏡手術 |
| 佐藤久美子 | 医員 | 周産期 |
| 清水可奈子 | 医員 | 産婦人科全般 |
| 田中 良明 | 医員 | 産婦人科全般 |
| 藤田 将行 | 医員 | 産婦人科全般 |
| 井上 理史 | 医員 | 産婦人科全般 |
| 北倉えり茅 | 医員 | 産婦人科全般 |
| 中村百合子 | 医員 | 産婦人科全般 |
| 南部 仁美 | 医員 | 産婦人科全般 |

教室員募集

定員：6名 出身大学は問いません。

申込締切：病院の締め切りに準ず。

選考方法：面接

説明会の日時、場所：希望者には適時連絡します。

連絡先：吉田好雄（教授）、折坂 誠（准教授）、品川明子（医局長）

910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3、福井大学産科婦人科学教室

TEL：0776-61-8392

e-mail：yyoshida@u-fukui.ac.jp

I 前期プログラム

以下の全ての項目で、ステップ3に到達することを目標とし、期間は2～3年を目安とする。

(1) 診療の基本姿勢の習得

周産期医療、婦人科腫瘍、生殖医療について、「最新の情報と患者自身の情報から、診療方針を決定する」という基本姿勢を習得する

| | |
|-------|---|
| ステップ1 | ウイリアムズ産科学、ノバック婦人科学、スペロフ生殖医学、ケーラ手術書を参考とする。 |
| ステップ2 | 文献情報の検索・分析結果に、患者自身の情報を加味し、診療方針を考案することを学ぶ。 |
| ステップ3 | 基本姿勢を踏襲しつつ5名程度の入院患者管理ができる。 |

(2) 手術手技の習得

| | |
|-------|----------------------------|
| ステップ1 | 良性疾患と産科手術の手技を理解し、第二助手ができる。 |
| ステップ2 | 良性疾患と産科手術の第一助手ができる。 |
| ステップ3 | 悪性腫瘍手術を理解し、第二助手ができる。 |

(3) チーム医療：コメディカルを含む医療チームの構成員としての活動能力の養成

| | |
|-------|--|
| ステップ1 | スタッフ—研修医—学生—看護師で構成される「チーム医療」を理解し、チームの一員として活動できる。 |
| ステップ2 | 「チーム」中核として、研修医・学生を指導できる。 |
| ステップ3 | 「チーム」のヘッドとなる。 |

(4) 患者ならびにスタッフとのコミュニケーション能力の養成

| | |
|-------|---|
| ステップ1 | 指導医師の患者への説明内容を、診療録に正確に記載できる。 指導医師に、患者情報を、簡潔かつ必要十分に伝える事ができる。 |
| ステップ2 | 良性疾患患者、一般周産期患者に、診療情報を正しく簡潔な言葉で説明し、正確に理解させることができる。 カンファレンスで、患者情報と診療方針決定の背景を、正しく簡潔な言葉で説明できる。 |
| ステップ3 | 学会で、正しく簡潔な言葉で症例報告ができる。 |

II 後期プログラム

後期プログラムは関連病院で行うことを原則とする。また、診療科副責任者が務まるレベルへの到達を目標とする。研修期間は2～3年を目安とする。

(1) 診療の習熟

| | |
|-------|--------------------------------|
| ステップ1 | 「診療の基本姿勢」を踏襲し、5～10症例の入院管理ができる。 |
| ステップ2 | 初期研修医に「診療の基本姿勢」を指導できる。 |
| ステップ3 | 一般産婦人科の外来診療ができる。 |

(2) 手術手技の習得

| | |
|-------|--|
| ステップ1 | 指導医師を第一助手として、良性疾患と産科手術の執刀ができる。 鏡視下手術の第一助手ができる。 |
| ステップ2 | 初期研修医を第一助手として、良性疾患と産科手術の執刀ができる。 |
| ステップ3 | 指導医師を第一助手として、簡単な鏡視下手術を執刀できる。 悪性腫瘍手術の第一助手ができる。 良性疾患と産科手術に関し、初期研修医の助手指導ができる。 |

(3) チーム医療

診療科の副科長として、コメディカルを含む医療チームをリードできる。

(4) 患者とのコミュニケーション能力の養成

悪性腫瘍患者、ハイリスク妊娠患者に、診療情報を正しく簡潔な言葉で説明し、正確に理解させることができる。

Ⅲ 専門医養成プログラム

| | |
|-------|--|
| ステップ1 | 上述の前・後期プログラムを終了した医師は以下の教育プログラムに進む。 前・後期研修を通じてサブスペシャリティー(婦人科腫瘍、生殖医療、周産期医療、中高年医療のうちの1～2つ)を決める。大学病院に戻り、臨床チームの一員として研鑽を続ける。また、臨床研究に従事する。 |
| ステップ2 | 臨床研究を通じて発生するテーマについて基礎研究に従事する。 研究が進捗状況を勘案して、大学院に進学する。 |

関連病院

1) 充実した「関連病院システム」を有し、福井県全域、加賀平野、京都府北部、さらには岐阜県の一部を診療圏とします。

福井県

| | | |
|--------------|----------|----------------|
| 福井赤十字病院 | 福井愛育病院 | 福井県済生会病院 |
| 福井総合病院 | 公立丹南病院 | 国立病院機構敦賀医療センター |
| 杉田玄白記念公立小浜病院 | 福井勝山総合病院 | 坂井市立三国病院 |
| 福井厚生病院 | 福井県立病院 | |

石川県

| | | |
|----------|-----------|--|
| 石川県立中央病院 | 加賀市医療センター | |
|----------|-----------|--|

京都府

| | | |
|--------|--|--|
| 舞鶴共済病院 | | |
|--------|--|--|

岐阜県

| | | |
|------------|--|--|
| 中部国際医療センター | | |
|------------|--|--|

2) 「大学病院と関連病院を一機能単位」とする、独自の教育・研究体制を完備している。

留学先

現在共同研究中の国内外施設 カナダ：オタワ大学

専門医制度

産婦人科専門医制度

卒後6年目に専門医試験(筆記及び口頭試問)を受けることができます。

条件として、通算3年以上日本産科婦人科学会の会員で、日本産科婦人科学会指定の卒後研修指導施設で、卒後研修目標に沿って通算3年以上の臨床研修を行った者であること。とされています。

連絡先

吉田好雄(教授)、折坂 誠(准教授)、品川明子(医局長)

910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3、福井大学産科婦人科学教室

0776-61-8392

e-mail: yyoshida@u-fukui.ac.jp [教室] obgyn@med.u-fukui.ac.jp [品川] sngw@u-fukui.ac.jp

産婦人科ホームページ

<http://sankafujinka.com/>